

四谷の

千枚田だより



第74号



支援活動

全国に三千人の社員を持つアストラゼネカ社は企業市民として地域社会に恩返しをしたい、製薬企業として「人」と「環境」に貢献する活動をしたという思いから平日の一日をC-dayの日と定め、多様な価値を持つ棚田などを守る「高齢化する村を支援するプロジェクト」として地域貢献活動を展開している。

十月九日、四谷の千枚田も社員百十七名が支援活動に訪れた。

受入れ方として千枚田の環境、景観整備作業工程、班分け、交流会のシシ汁用のイノシシ捕獲など綿密に計画、準備万端。そこへ台風一八号の襲来という大ハブニングが勃発。湧き水、天日干しの稲ハザのほとんどが倒壊、燦々たる状況で、ボランティア受入れどころでなくなつた。

停電と携帯通話不通！文明不在の最悪の状況のなか、キリキリする胃の痛を噛みしめAZ社井田キャプテンに実状を報告、「環境整備活動を倒壊した稲ハザや市道・生活道路

の災害復旧の支援をいただきたい」と打診。井田キャプテンの「私達も皆さんのお役に達ちたい、是非協力させてください」と温いご返事をいただいた。



倒壊した我が家のハザ起こしでイライラがつのる被災農家各戸に明日の復旧支援活動を伝達。

当日、またまたハブニング。役員八時半、会員九時半集合、行程説明やテント張りなどの準備作業も完了。東名高速道路の集中工事を避け、

一般道を走るバスの大幅な遅れの連絡。パニックのなか、到着が昼近くになり、午前中の行事(作業)はすべて中止、ふれあい広場でシシ汁の美味しい臭いのするなか企業が地域に貢献する姿勢に大きな関心を示す穂積新城市長の歓迎祝辞に始まり松下事務局の軽快な司会で交流会を開催。転勤や新規採用の社員の自己紹介や千枚田の概要、自然、環境などの説明も行った。

大はそり二釜のシシ汁(十五kgの猪肉)の煮えたとところで昼飯タイム。司会の「お昼だぞん」の号令と同時にシシ汁にめがけて百余名の行列があつた。この敏捷さがあれば午後

の災害復旧作業も完璧と遠くから密かに感じた。
作業は三班に編制。一班(今泉雅男班長)は千枚田入り口からポットリまで、二班村雲伸一班長は天王橋まで、三班今泉良治班長は県道上からふれあい広場までの倒壊した稲ハザの復旧作業、特別班林義明お助け隊リーダーは市道や生活道路などに倒壊した樹木の除伐、清掃作業等々を各班各自、誇りを持った目で作業に勤しまれた。

四時、すべての復旧作業が完了、全員が千枚田入り口に集結。お互いの労う挨拶交換会が行われた。

受入れ方：皆さんの真心のこもった働きに感謝を越えた感動をいただいた。

偉い様も、へばい様も仲隔たりが見えず、素晴らしい会社と痛感。私たちの台風災害復旧作業にご尽力いただき本当に、本当に有り難うございました。

支援側：私たちも被害の深刻さに驚いた。お手伝いできるか心配したが、お役立てできたと聞き、とても嬉しい。



この、活動も四年目で顔なじみが多く、和気藹々の雰囲気のうち小山広一理事のメですべての行事が終了。また、来年の再会を願って感謝の念でお見送りをした。

三遠南信サミット2009

in東三河

東三河・遠州・南信州地域の連携を深めるため、地域住民、大学・研究期間、経済界および行政が一堂に会し「日本の県境連携モデルの構築」三遠南信地域連携ビジョンの実現に向けて」をテーマに、全体会分科会および報告会を開催します。分科会では意見交換を行い、三遠南信地域の連携について議論を深めます。また、同地域の連携に関する住民団体の活動報告などを行う住民セセッションも併せて開催します。**住民セセッション** 三遠南信地域の連携に関する住民団体の活動報告など 午前十時～正午 **サミット全体会** 基調講演「変動と変化への地域的対応」中央大学大学院山崎朗教授 午後一時～三時

「道」分科会 テーマ「地域基盤形成による人・もの・情報の流動促進」
 「技」分科会 テーマ「県境域の持続的発展に向けた産学官連携・農工商連携への期待」「風土」分科会 テーマ「塩の道に培われた歴史・文化資源を生かすネットワークづくり」
 「山・住」分科会 テーマ「広域連携による生活環境の向上と流域定住の促進」午後三時三十分～五時三十分 **報告会** 各分科会の報告とサミット宣言

とき 十一月一三日(金) ところ
 ホテル日航豊橋 入場料 無料

申し込みおよび問合せ先 十一月六日(必着) 三遠南信地域連携ビジョン推進会議(SENNA)事務局

(053-457-2242) 詳細はポスター、パンフレットに掲示
 三遠南信サミット2009 東三河 専門委員 小山舜二(保存会)

感謝祭

豊橋調理製菓専門学校は四谷の千枚田で食の原点である「稲作体験学習」を実践している。九月三十日、本年の学習の最終である脱穀も雨のため中止。身平橋集会所で稲穂の粒数やご飯茶碗一杯のお米の数などの計測を行った。



最近に於けるイノシシの捕獲数(連谷地内) 平成21年5月～

月	日	個別	匹	場所	地区	月	日	個別	匹	場所	地区
5月	10日	親	1	田の口	四谷	8月	16日	親	1	与良木	連合
5月	30日	親	1	細尾	四谷	8月	19日	仔	2	大代	四谷
6月	5日	仔	4	椎島	四谷	8月	20日	仔	4	方瀬	連合
6月	7日	親	1	細尾	四谷	8月	23日	仔	4	松下	連合
6月	17日	親	1	大向	四谷	8月	27日	仔	4	松下	連合
6月	23日	親	1	中道	四谷	8月	31日	仔	1	池田	四谷
7月	12日	親	1	方瀬	連合	9月	1日	仔	1	細尾	四谷
7月	20日	親	1	方瀬	連合	9月	1日	親	1	松下	連合
7月	20日	親	1	身平橋	四谷	9月	22日	親	1	椎島	四谷
7月	20日	親	1	大向	四谷	9月	22日	仔	1	大向	四谷
8月	3日	親	1	方瀬	連合	9月	24日	親	1	中道	四谷
8月	8日	仔	2			計			42	四谷	連合
8月	8日	仔	3	椎島	四谷					23	19
8月	8日	仔	2	大代	四谷						

雨のため中止になった時間を中山間地域最大の課題である獣害対策「捕獲檻によるイノシシ退治」の実体を衝撃的な映像を交え学んだ。感謝祭は地元の人たちも招き校長先生の指導でバーベキューに挑戦。イノシシの焼肉も楽しんだ。

連谷小学校の稲刈り

十一人の子も達は田お越しから収穫祭までの稲作体験学習を行っている。

十月一日、小雨交じりの天候であったが田んぼ一杯に実った稲の刈り取り作業を行った。

ウインドブレーカー

四谷の千枚田を核に「むらづくりに」励む連谷地区の活躍は大きく、世間にも認められている。その活動の一助として愛知県新城設楽農水事務所建設課のお骨折りで「県ふるさと指導員活動支援物資」としてウインドブレーカーが支給されました。今後、このウインドブレーカーをユニホームとして様々な活動に活用して頂きたい。

配布先：保存会、連谷お助隊、田吾作、棚田っ娘等々



稲藁の出荷

二酸化炭素削減に貢献する横浜ゴム新城工場は今年も環境にやさしく育てられた千枚田の稲藁を高価格で購入していただきます。

百姓たちは思わぬ副収入に「旨いおかげが買える」と大喜び。感謝しております。

行 平成二十一年十月十五日
 鞍掛山麓千枚田保存会
 文 責 小山舜二